

お手入れと保管のしかた

この加湿器は水を過熱して蒸発したスチームで加湿をします。水道水にはカルキなどが含まれてあり蒸発すると残留物が汚れとなって本体内の蒸発皿に付着します。放置しますと固着し、掃除してもそれなくなることがあります。故障の原因となります。つきの手順で掃除し、いつも清潔にしてお使いください。

本体のお手入れ

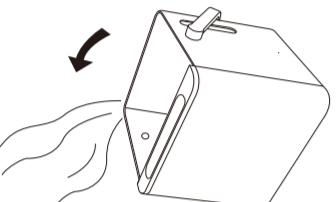
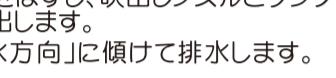
- 使用直後は本体内部に熱湯が残っています。
- 差し込みプラグを抜いて本体、熱湯の冷めるのを待して掃除してください。
- 本体の汚れは柔らかい布でひいてください。汚れがひどいときはさめだ中性洗剤を布につけてふきとり、からみきしてください。



蒸発皿のお手入れ(週に1回以上)

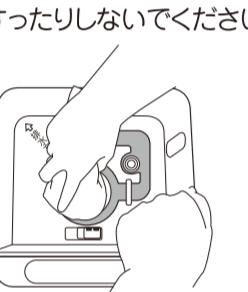
- 蒸発皿に水あかが付着したまま使用すると、加湿量が低下し、故障の原因になりますので、必ず1週間に1回以上お手入れしてください。

1. 本体内の水を捨てる。



2. 本体内、蒸発皿の水あかをとります。

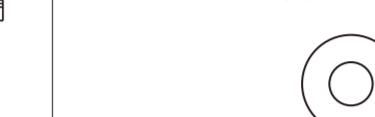
- 水を浸した柔らかい布でひきます。
- もし、蒸発皿の水あかが拭き取れない場合は付属のフランジなどを使って取り除いた後、湿らせた布で拭き取ってください。硬い金属類などでこすりたくないでください。



クリーニングフィルターのお手入れ(週に1回以上)

- 水あかが溜まるとクリーニングフィルターが固まり、加湿量の低下や水漏れの原因になります。

1. タンク、吹出ノズルをはずし、蒸発皿からクリーニングフィルターを取り出してください。
2. 水洗いをして、本体に戻してください。



クリーニングフィルター(消耗品)

- 水あかがこびついで、壊れたときは交換してください。
- 捨てるときは不燃ゴミとして捨ててください。
- ご購入はお買い上げ販売店または当社にあ問い合わせください。

1ヶ月に1回以上は

1. 本体底面の吸気口部のホコリを掃除機で吸いとってください。

保管のしかた

1. お手入れ後、付した水を拭き取り、日陰で乾かします。
2. 包装箱に入れるが、ポリ袋をかぶせ湿度の少ない場所に保管してください。



5

安全上のご注意

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと、切迫の程度を明示するために、設った取り扱いをすることとされる内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠ 警告

- 禁
止
●乳幼児や身体の不自由な方には付き添いなしでは使用しないでください。(やけどをおこす恐れがあります。)
- 分
解
禁
止
●技術修理者以外の人は絶対に本体を分解したり、修理、改造をおこなわないでください。(火災・感電の原因となります。)
- 水
かけ
禁
止
●水につけたり、水をかけたりしないでください。(火災・感電の原因となります。)
- コン
セ
ント
を
抜
く
●お手入れの際は必ず電源コードを抜いてから行ってください。(感電・けがの原因となります。)

⚠ 注意

- | |
|--|
| 禁
止
●交流100V以外では使用しないでください。(火災・感電の原因となります。) |
| 不安定な場所では使用しないでください。また、本体の上には何も置かないでください。(火災・感電の原因となります。) |
| 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないでください。(火災・感電の原因となります。) |
| ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。(火災・感電の原因となります。) |
| ●お手入れの際、スイッチ等の電気部品は水に浸したりしないでください。(火災・感電の原因となります。) |
| ●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(絶縁劣化による感電・漏電発火の原因になります。) |
| ●ご使用中に異常な匂い「水もれ」等が発生したら直ちに使用を止め電源プラグをコンセントから抜いてください。(火災・感電の原因となります。) |

修理サービスを依頼する前に

修理をご依頼される前に、よくお読みいただき、次の点検をしてください。

スチームが出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか?
- 電源スイッチが「切」になっていませんか?
- タンクの水がなくなっていますか?

スチームの出が悪い

- 本体底面の吸気口がふさがれていますか?
- 蒸発皿が白く汚れていませんか?
- クリーニングフィルターが汚れていますか?

アフターサービスについて

①この製品には、保証書がついています。

お買い上げの販売店での所定事項の記入をご確認いただき、保証内容をよくお読みになって大切に保存してください。所定事項の記入がないと保証は有効となりませんので、そのときはお買い上げの販売店へ記入をお申しつけください。

②保証期間中に修理を依頼されるとき

この取扱説明書をよくお読みいただき、異常がある場合はお買い上げの販売店に保証書をご提示の上、修理を依頼してください。保証書の規定により修理させていただきます。

③保証期間後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。

④補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するため必要な部品)を製造打切後、最低6年間保有しております。

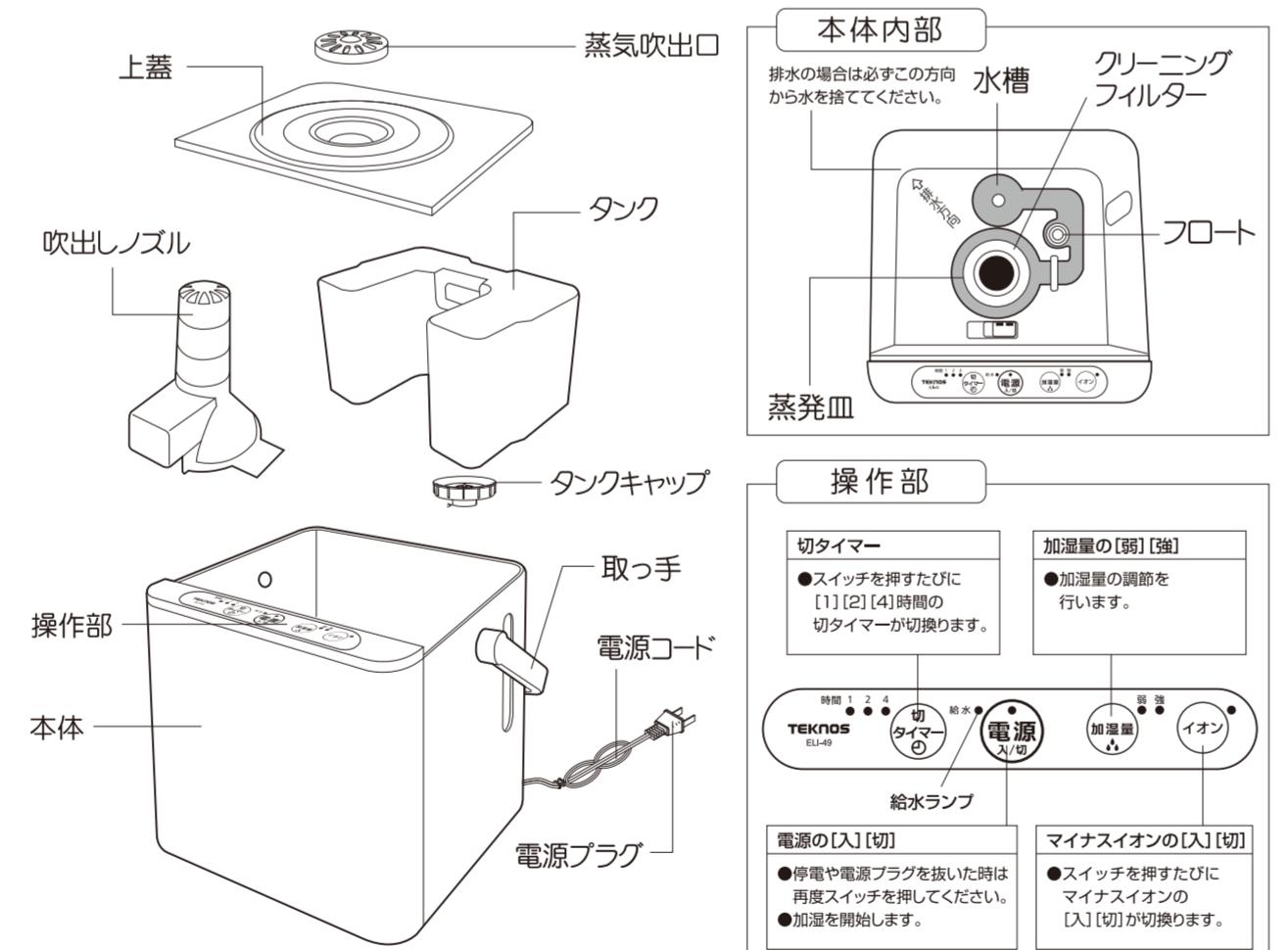
■お客様ご自身で修理や改造することは危険ですので、絶対におやめください。

仕様

電 源	AC 100V 50/60Hz	製 品 尺 法	高さ 260×幅 260×奥行 260mm
消費電力	380W/190W	製 品 重 量	2.3kg
連続加湿時間	約 9 時間(強の場合)/約 20 時間(弱の場合)		
加 湿 量	強 450ml/ 時 弱 200ml/ 時	適用床面積 の目安	木造和室／約 7畳 プレハブ洋室／約12畳
タンク容量	約 4.0 ℥		

6

各部の名称



置き場所

床面から0.5~1mの水平なところでお手入れの際、スチームをさわらないようにしてください。

※床面に直接置かないでください。床の材質によっては変色する事があります。

●床面から0.5~1mの水平なところでお手入れの際、スイッチ等の電気部品は水に浸したりしないでください。

●直射日光や、暖房器具の熱が直接当たるところ、また暖房器具やテレビ、ステレオ機器等の電気製品の上には絶対に置かないでください。

次のような場所には置かないでください。

●傾いた場所や棚などの高いところに置かないでください。転倒すると熱湯がこぼれ、やけどをする恐れがあります。

●床に直接置かないでください。床の材質によっては変色する事があります。

●直射日光や、暖房器具の熱が直接当たるところ、また暖房器具やテレビ、ステレオ機器等の電気製品の上には絶対に置かないでください。

ご使用方法 (スチーム運転中は沸とう音がしますが、異常ではありません。)

給 水

1. タンクに水を入れます

- 上蓋をはずしタンクを本体より取りだし、タンクキャップをはずしタンクの中に新しい水道水を入れます。水を入れたら、タンクキャップをしっかりと締めてください。

ご注意

- タンク内に温水(40℃以上)、化学薬品、汚れた水、芳香剤などを入れて使用しないでください。故障の原因になります。
- タンク水槽に異物(ヘビンマツ、ツバキ、クレープ等)を入れないでください。

2. タンクを本体にセットし上蓋をのせます

- この時タンク内の水が、本体の水槽に滴下しているかを1度タンクを持ち上げて確認してください。

ご注意

- 水槽の直接給水はしないでください。

運 転

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます

- 電源スイッチが「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
- 水のない時や本体を倒した状態では絶対に通電しないでください。やけどや故障の原因になります。

2. 電源スイッチを入れ電源ランプと「強」加湿ランプが点灯したことを確認します。

- 電源スイッチを「入」にすると、電源ランプが点灯し約2~3分後に吹出口から蒸気が出ます。

ご注意

- 加湿量切換スイッチの「強」または「弱」を選び、加湿量の調節を行います。

操作部

加湿量切換スイッチ

電源スイッチ

電源ランプ

マイナスイオンの【入】切

マイナスイオンの【入】切